

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人 大阪府国際交流財団
-----	------------------

〔1〕

成果測定指標	単位	R 6 年度目標値	R 6 年度実績値	目標値との差
ホームページアクセス数	件	120,000	47,596	△72,404

未達成の要因					要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応	
①	ホームページの仕様変更、SNSを通じた情報発信の増加				・ホームページをリニューアルしたことで、それまでブックマークからアクセスしていたリピーターユーザーが容易にアクセスしづらくなり、一時的にアクセス数が減ってしまっていると考えられる。 ・世界的に年々SNS利用者数が増加している状況に鑑み、タイムリーな情報はSNSに多く掲載していたことで、ホームページの新着情報掲載頻度が想定よりも下回った。 ・ユーザーの情報獲得源がこれまで以上にSNSに流れており、SNSの閲覧数は36,192件と昨年度より増加している。						・リニューアルしたホームページの、更なる魅力と情報検索力を維持し、訪問者にリピーターとなってもらえるよう努める。 ・新着情報の更新について、写真を工夫しインパクトのある内容となるよう努める。また、SNSにおいては、新着情報の掲載頻度を高め、よりタイムリーに情報発信する。 ・SNSを通じてホームページにも誘導するなど、SNSを含めた総合的な周知・広報の方策を検討、実施していく。
	関連項目名	新着情報の掲載件数	単位	件	R6当初想定値	100	R6実績値	73	差		△ 27

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人 大阪府国際交流財団
-----	------------------

〔2〕

成果測定指標	単位	R6年度目標値	R6年度実績値	目標値との差
留学生会館入居率（年平均）	%	85.0	74.6	△10.4

未達成の要因					要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応	
①	入居者募集アプローチ校数(アフターフォロー含む)の不足				・入居者の在籍校が2大学に偏在しており、春と秋の留学生の入学時期における入れ替えの入居者は確保できているものの、それ以外の時期の新規入居者に繋がらず、現在入居者数(62～65名程度)で頭打ちとなっている。 ・過去の募集活動を踏まえ効率的な募集活動を行うため入居者募集の直接アプローチは入居実績校に絞って行っており、他校への直接アプローチ(アフターフォローを含む)ができていなかった。							・2大学の入居者数を維持しベースとするとともに、外国人留学生が多数在籍する通学時間1時間圏内の医療系大学・専修学校への募集の直接アプローチ校数を増加させるとともに、アプローチ後のアフターフォローを強化する。また、マンパワー不足を補うため、仲介業者経由の募集の可否について検討を始める。
	関連項目名	直接アプローチ校数	単位	校	R6当初想定値	4	R6実績値	4	差	0		